

ち かい

私は、名誉にかけて、次の3条の実行をちかいます。

- 1. 神(仏)と|同とに誠を尽し“おきて”を守ります。
- 1. いつも、他の人々を助けます。
- 1. からだを強くし、心をすこやかに、徳を養います。

標 語

そ な え よ つ ね に  
日 日 の 善 行



お き て

- 1. スカウトは誠実である
- 2. スカウトは忠節を尽す
- 3. スカウトは人の力になる
- 4. スカウトは友誼に厚い
- 5. スカウトは礼議正し
- 6. スカウトは親切である
- 7. スカウトは従順である
- 8. スカウトは快活である
- 9. スカウトは質素である
- 10. スカウトは勇敢である
- 11. スカウトは純潔である
- 12. スカウトはつつしみ深い



静岡県西部大会 撮影 高倉清雄隊長

# 新年度にあたり思う事

浜松地区委員長

内 田 時 世



現代は科学的合理主義が万能視され信ずることが忘れられた。しかし信ずることなくしく深く知ることは出来ない。世の中には未だ科学者にも知られない自然現象があることも忘れてはならない。

不思議を不思議として受取る素直な心を持つことも必要であり、ものの考え方についても反省する時期が来ていると考える。「不可解は可解なりとの信念を抱け、この信念のないところに進歩はない」と、スカウトにこの信念を持たせること、それには「手は手でなければ洗えない。得ようと思ったら、まず支えよ」という格言の通り、リーダー、保護者は立派なスカウトを得ようとおもったら、自分から子供達にスカウティングを支えることから始めてほしい。スカウター全員が素直に今こそ「ちかい」の原点の内に「おきて」の実践を明確にすべき時が始まっていると考える。スカウティングが出来るということとスカウティングが解るといふこととは根本的に異質のものである。出来るという事よりスカウトが自分からスカウティングが解るように

共に学ぶことに私達はリーダーとしての喜びを味い、スカウトにスカウティングへの理解を支えることに最善の努力をおしんではならない。「よく出来たネ」とほめる前に、よく解っていて、その事が出来たかどうかを知る必要がある。出来なくても、その事を理解しているならば、たとえ、その結果がまづくても、可能性に挑戦した事に、大人は称賛をおしみなく支えるべきである。此の挑戦のチャンスが大人が、リーダーがどのようにして、安全に、有効にスカウトが行い得るように、助言指導する事によって、真のスカウターが育成されてくるものと考えている。その段階的試行がCS→BS→SS→RSと一貫した課程にある。此の組織を長い目で、スカウターの進歩向上を通じて一人一人の個性を発見し、その長所を育成する忍耐を私達はもちたいと思う。特に家庭での親の責任はそこにあるとおもうし、最も大切な事と考える。スカウトと親の自覚なくしてスカウティングは成功しない。来年は第7回日本ジャンボリーが御殿場滝ヶ原で挙行されます。これに一つの「節」を求めるのも今年度の課題ではなからうか。

昭和51年度地区協議会収支決算報告書

自 昭和51年 4月1日 至 昭和52年 3月31日 日本ボーイスカウト浜松地区協議会

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異 額	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異 額
前期繰越金	439,902	439,902	0	会 議 費	100,000	66,500	33,500
地区分担金	718,300	727,000	8,100	印 刷 費	75,000	58,800	16,200
委託金	65,000	65,000	0	専 務 費	50,000	47,940	2,060
寄 附 金	400,000	455,000	55,000	通 信 費	100,000	114,470	△14,470
雑 収 入	10,000	158,117	88,117	慶 弔 費	30,000	7,230	22,770
				備 品 費	250,000	8,000	242,000
				旅 費	50,000	35,000	15,000
				研 修 費	475,000	343,642	131,358
				行 事 費	210,000	284,630	△74,630
				運 営 費	80,000	61,000	19,000
				保 管 料	60,000	60,000	0
				スカウト浜松援助金	100,000	100,000	0
				分 担 金	3,000	1,000	2,000
				雑 費	40,000	47,830	△7,830
				予 備 費	70,202	0	70,202
合 計	1,693,202	1,845,019	151,817	合 計	1,693,202	1,236,042	457,160
				差引翌期繰越高		608,977	

上記の通り収支決算報告をいたします

昭和52年 4月13日 日本ボーイスカウト浜松地区会計 伊 態 正 治 ㊟

上記収支決算監査の結果正当・正確であることを認めます。

昭和52年 4月13日 日本ボーイスカウト浜松地区財政委員長 金 森 武 夫 ㊟

昭和52年度 事 業 計 画

日本ボーイスカウト浜松地区

月別 区分	地 区 関 係	スカウト 関係	県 連 ・ 日 連 関 係
4	地区総会(16)	緑の羽根募金(1~20) D・M研修会 各小地区ごと D・C研修会 (4月~6月中実施)	
5	浜松まつり駐車場奉仕(3~5) ヨットリーダー研修(21~22)	スカウト週間(2~8)	県連総会(28) 日連年次総会 日連歌唱指導研究会
6	地区内B・Sリーダー研修(19)		県大会西部会場(弃天島)(5) カナダジャンボリー派遣(29~ $\frac{1}{2}$ )
7	団委員研修会(3)		県連ヒルモント訓練派遣(28~ $\frac{3}{4}$ ) 第9回アメリカジャンボリー(1~19)
8			県連アドベンチャーキャンプ(12~16) 第9回タイジャンボリー(1~19)
9	地区大会(25)		
10	J・O・T・A(等20回)(15~16)	B・Sソフトボール大会(2)	
11	団委員野営研修会(5~6) 地区内C S Sリーダー研修会(23)		
12			日連歌唱指導研究会 ・ 8回ニュージーランドジャンボリー(22~ $\frac{1}{4}$ ) ・ 2回フィジージャンボリー(22~ $\frac{1}{4}$ )
1	日の出還拜式(1)		
2	地区内S・Sリーダー研修会(25~26)		
3	班長訓練野営(23~26)	緑の羽根募金(10~ $\frac{1}{10}$ )	
そ の 他	C・S、B・S、S・S、別リーダー研修(随時) 小地区別リーダー研修(毎月一回地) 地区内各種運営委員会(随時) 地区内コミ関係者会議(月1回) 事務局関係者会議(随時) 訓練チーム研修及び会議(随時) ヨット委員会(随時)	無線クラブ委員集会(随時)	

# 第1回 西部小地区 母親バレーボール大会

52. 6. 19 於・曳馬中学校



〔ママさんがんばれ〕

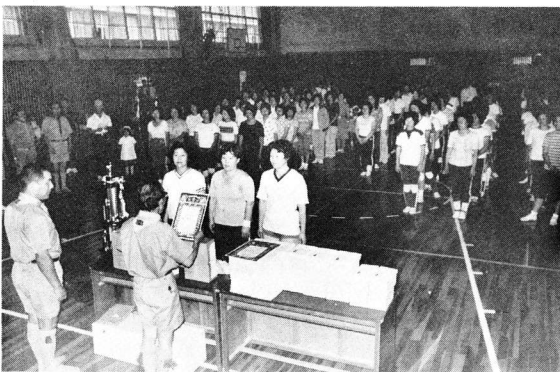
## バレーボール大会に寄せて

大会委員長 宮 沢 広 士

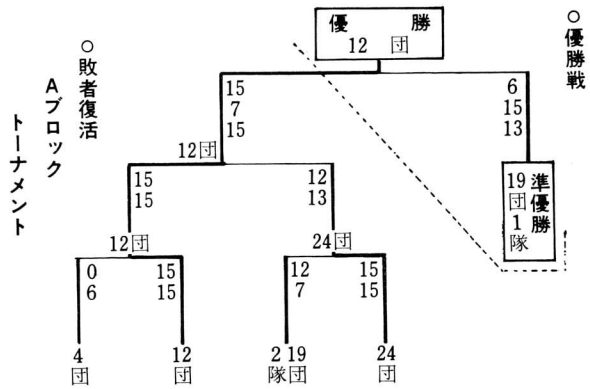
6月19日(日)の午後、西部ブロックでは各団対抗のママさんバレー大会を曳馬中学校に於て開催した。第1回的事で各団のハッスル振りは大変なものであった。私はこの大会の委員長として開会の挨拶をし、賞品授与を行なうことになったが、お母さん方のはち切れんばかりの若さと肉体美に一驚させられた。

この様な対抗試合になると、どの団も普段見られない団結の気持ちが湧き上って来るものである。いつもけんかばかりしている兄弟でも、子供だけでどこかへ行けば兄は弟をかばい、弟は兄の指示に素直に従うものである。この様な団結・協力の精神を再確認するには、ほんとうによい機会だったと思う。普段の団内だけの事になると、いろいろ考え方や感じ取り方がちがって、ややもすると不協和音発生につながりやすい。地元を離れて、よそへ出てみると誰れでも思うことは我が家のことであり、我が団のことになる。そんな意味で団対抗でなくても時々地元を離れて活動することが大切だと思う。外国へ行つてはじめて日本の素晴らしさが身にしみて解るのもそれである。地元の24団には最初から最後までお世話になりっ放しで、沢山の賞品までご寄贈いただいた事を心から有難く感謝申し上げます。

尚、日曜日に学内を開放して下さった曳馬中学校に深く感謝申し上げます。

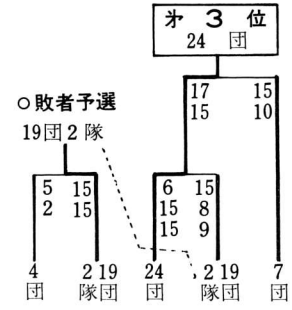


〔賞品授与式〕



### ◎ Bブロック・リーグ戦

	19団1隊	7 団	11 団
19 団 1 隊		15-6 8-15 15-4	16-14 15-8
7 団	6-15 14-8 4-15		15-6 14-16 15-5
11 団	14-16 8-15	6-15 16-14 5-15	



## 邂 逅

浜松第11団 SS隊 齊藤 欽 司

私は浜松地区の班長訓練野営にボーイ隊の時一回、上班として三回ほど参加しました。経験の浅い私が言うのはおこがましいのですが、このごろの班訓は、私の頃と違って、三泊四日のやや長い日程でもあり、そのためかプログラムもかなり豊富になったように感じます。

あの頃、いや私の時は芝方の野営場で、しかも二泊三日。芝方もまだ手がつけられていない時でしたから、相当苦労した思い出があります。私の属した班は、サイトを定めるじゃんけんにかけて、湿地の上に寝ることになってしまい、低木を切り倒し、やぶを開いたり(切った木を並べ、その上にグランドシートを敷くという作業で、寝ながら流れる水の音を聞いたぐらいで……)当時小学校六年の私にはつらかった。そして詰まった日程の上に堀りかまどに水が溜まったりして、ろくに飯も食わず……二日目の朝、明日は帰れるんだと思って元気が出た……などという惨々な思い出が今だに鮮明です。ところが、それらの思い出の中でとりわけ強く心に焼きついている映像はというと、意外にもそれは、あの容赦ない水汲みを命じた班長やその他の年上のスカウトら(私だけが小学生だった)の冗談を言い合う笑顔の数々なのであります。

人と人のめぐり会いというもの、一期一会なものであるということから、それ自体が、不思議にも貴重さを持つわけですが、私が心に残すことができたあの班訓での私と人との結びつき、これを知らず知らずのうちに強くしたものは、共に同じ釜の飯を食い、共にリーダーにどやされ、共に貫徹の喜びを味わったという事実に他なりません。この結びつきは、同じ目標に向かって、損得抜きに、互いに鍛え合い励まし合う人間同志にしか宿らないものだと言っていいでしょう。つまり班訓とは、

昭和52年度 地区協議会 財政予算

自 昭和52年 4 月 1 日 至 昭和53年 3 月 31 日

日本ボーイスカウト浜松地区協議会

Table with columns for '取入' (Income) and '支出' (Expenditure). It lists various items like '前期繰越金', '地区分担金', '委託金', etc., with their respective amounts and descriptions.

上記の通り本年度予算を提案いたしました。

但し、科目間の流用は認めることとする。

昭和52年 4 月 16 日

日本ボーイスカウト浜松地区協議会 財政委員長

金 森 武 夫 ㊞

昭和52年度 浜松地区協議会 役員名

( )内数字は所属団を示す。

- 協議会 長 吉沢純道(1)
副協議会 長 柳本冬彦(10) 平野富士雄(11) 林良太郎(15)
地区委員 長 内田時世(4)
地区副委員 長 内田嘉一(1) 宮沢広士(12) 市川重雄(16) 杉山友男(北1)
財政委員 長 金森武夫(12)
財政副委員 長 齊藤繁雄(11) 佐惣正治(18) 間片浩(24) 松本俊信(北4)
組織拡張委員 長 山中将司(18)
組織拡張副委員 長 吉沢正道(1) 袴田栄治(15) 野中豊治(19) 山下総太郎(北3)
指導者養成委員 長 高須岩夫(3/2)
指導者養成副委員 長 齋木誠二(1)
指導者養成副委員 長 光部四郎(7) 奥沢達司(14) 新谷豊(16) 高部良平(23)
伊藤尚(北5)
進歩委員 長 中嶋圭介(12)
進歩副委員 長 山田昌彦(6) 鈴木護(19) 横山寅彦(22) 山中洋一(可1)
野営行事委員 長 竹村徳一(20)
野営行事副委員 長 岡本一郎(1) 鈴木宗太郎(10) 川瀬愛次郎(15) 木村清治(21)
松井英昭(北2)
健康安全委員 長 長尾静夫(14)
健康安全副委員 長 木村敏夫(12) 平山木一(15) 阿部正昌(21) 永田千一(細1)
地区会 計 伊惣正治(18)

浜松地区コミッショナー
副コミッショナー

- 牧野 績(4)
後藤 守利(10)
八木本 忠夫(19)
新井 信一(16)
玉木 功一(21)
永田 遼児(7)
福世 正志(18)
外山 吉保(北1)
村上 虎吉(細1)
柴田 薫(1)
中島 繁光(6)
鈴木 俊輔(11)
原口 芳彦(24)
山口 照司(16)
井ノ口 泰三(20)
内山 恵介(引2)

# 弥栄 昭和51年度表彰

## 県連表彰

<b>県連感謝章</b>	平野富士雄	地区副協議会長(浜松11)
	柰屋 禎一	可美一団副育成会長
<b>県連有功章</b>	齊木 誠二	地区指導者養成委員長(浜松1)
	金子 健三	浜松6団々委員
	村松 辰次	浜松6団副団委員長
<b>地区感謝章</b>	谷口 久雄	浜松7団育成会長
	青嶋 兼治	浜北2団 〃
	高倉 要	浜北4団 〃
<b>地区表彰</b>	山葉 寅雄	浜松4団々委員
	吉田 一	〃
	松井 義男	〃
	光部 四郎	浜松7団々委員長
	森重千太郎	〃 副団委員長
	依田 留也	浜松11団々委員
	蔭川 鉄次	浜松12団々委員

小倉 清隆	〃
山本 勲二	〃
中島 浩次	浜松16団々委員
平尾 繁光	浜松16団々委員
宇野 三雄	浜松18団副団委員長
渥美 俊策	浜松19団 〃
鈴木 真一	〃
杉山 守夫	浜松20団々委員
塩谷 正二	〃
小田木正三	〃
原田 博次	〃
佐田 正一	浜北2団々委員
河野 次人	〃
松本 俊信	浜北4団々委員長
中村 和夫	〃 団委員
高須 岩夫	引佐2団々委員長
黒瀬 説雄	〃 団委員
内山 一男	〃
内田隆治郎	〃
杉山 正禎	細江1団C・S隊長
<b>地区善行表彰</b>	齊藤 宣宏 浜松20団カブスカウト

## ○W・B実修所・研修所履修者 16名

### 実修所

- ・C・S課程 第25期 那須野営場  
原口芳彦(24)
- 第27期 那須野営場  
三輪悦爾(12) 板倉昭二(7)
- ・B・S課程 第39期 那須野営場  
永田通児(7)

計4名

### 研修所

- ・C・S課程 静岡第13期 浜松青少年の家  
鈴木ひとみ(4) 浅井由美世(4) 菊地計男(7)  
岡野久子(7) 高橋照久(11) 望月馨(12)  
内山文夫(23) 藪下尚男(24)
- ・B・S課程 静岡第11期 朝霧野営場  
小粥慶次郎(12) 神容恭二(引2)
- 静岡第12期 朝霧野営場  
河原崎敏(1) 村上虎吉 (細1) 計12名

## ○海外派遣 15名

- ・国際キャンプスタッフ派遣(米国) (6/28~8/28)  
寺田和義(6)
- ・米国建国200年記念日米スカウト交歓派遣 (7/7~8/7)  
鈴木孝実(1) 那須田馨(10) 青島豊(15)

## ・S・S米国ヒルモント野営場訓練派遣

(静岡県連主催第1回) (7/28~8/12)

(リーダー)原口芳彦(24)

(スカウト)松井佳茂(4) 宮崎史雄(4) 富田哲(6) 竹内一博(6)

青木善(7) 長谷川剛(12) 山本勝也(12) 蔭川敏(12)

袴田哲司(12) 馬場智弘(15)

# 文部省の快挙によせて

浜松4団団委員長 内田 時世

6月8日に、新学習指導要領案を文部省が発表した。その特別活動の項で「国民の祝日などにおいて儀式などを行なう場合には、児童に対してこれらの祝日などの意義を理解させるとともに、国旗を掲揚し国歌を斉唱させることが望ましい」と現行の「君が代」を「国歌」と明記した。誠に快挙といわざるを得ない。勿論私達スカウターは素直に、日本人としての自覚にもとずき「日の丸」を国旗として敗戦後一早く掲揚し、「君が代」を国歌として斉唱している事は明確衆知の事実であるが、「神と国とに誠を尽す」私達は今までより更に声高らかに国歌「君が代」を唱い、国旗「日の丸」を掲げて、日本人としての自覚を高め、良き日本人として、現代の国際社会の中での一員として、「君が代」の称栄を祈りたい。

ボーイスカウト日本連盟浜松需品部 スポーツ品全般 体育器具・器材設計施工

# 旭 ス ポ ー ツ 店

浜松・連尺町2 TEL 54-4301

# ボーイスカウト、ガールスカウト

## 静岡県西部大会～弁天島にて挙行さる

浜松地区コミッショナー 牧野 績

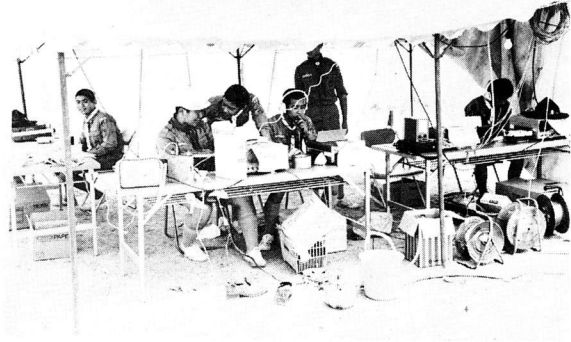
心配された雨も、晴天に恵まれ、3千余名のスカウト及び関係者が、浜名郡舞阪町弁天島渚園をうめた。

大会前日の4日、浜名地区、湖西地区、浜松地区の野営行事委員さんの協力で、午後3時から大会のための準備が進められた。浜松地区からは、マーキー2張と放送設備一式を搬入、一方、アマチュア無線クラブ員は20m程のコントロールタワーを立て早速試験電波に余念がなかった。天幕OK、放送OK、スカウトソングがスピーカーから流れ出大会ムードは前日から氣勢が上がった。又、湖西第5団、浜松第4団、可美第1団のスカウト達がキャンプを兼ねての大会参加のため、次々と会場入りし、会場西側の広場に設営の準備が進められ、チョットしたジャンボリーの気分であった。



夕日が湖面を真赤に輝した頃には、すべての準備が完了、スカウトのテントからは夕食の煙が上り、明日の晴天も約束され関係者を安心させた。無線クラブは真夜まで海外へ電波をとばしていた。

潮風のおいで目がさめ、すがすがしい朝を向え、参加スカウト歓迎の準備が進められた。国鉄電車の遅れにより、開会を定刻の10時を少々おくらせた。浜松第12団のトランペット隊の



ファンファレーを合図に大会の幕が開かれ、第1部の開会セレモニーが盛大に行なわれた。大会には静岡県宗教育長を初めとし、地元舞阪町長、佐原県会議員、県宗青少年指導課長、西部教育事務所長他地元関係者を来賓に迎え西部大会にふさわしい式典であった。

第2部スカウト行事は自然にしたしむ行事を取り入れ、特色あるカラーで浜名地区ではの行事にスカウト達も一日を楽しくすごした。釣をやるスカウト、イカダを作るスカウト、水産試験場を見学するスカウト、貝を捨てるスカウトと裏弁天はスカウト一色にうまつた。

会場を一巡した後久しぶりに尾崎、内田両氏等と、乃木さんの銅像を見に行き、松の木が大きく育ち、周囲がすっかり公園化されたことにおどろき、当時をしのんだ次第である。開会式の時にでも乃木さんの銅像に合せ、スカウトとの結びつきについて話しをすればと、今更ながら残念に思っております。



会場広場では、ガールスカウトが円陣を作りフォークダンスを踊り、貝拾いのスカウト達は手に貝を日焼けした顔をほころばせながら帰ってきた。

14時45分閉会式を挙行、参加章を代表団に渡され無事大会を終了した。

この大会も浜名地区各役員の方々及び、各地区野営行事委員の方々の影の力によるものと深く感謝いたします。

# 弥栄 浜松第18団結成10周年記念

浜松第18団・BS隊長  
伊熊有祐

「記念式典計画、実施により団家族の結束いよいよ高まる。」  
4月3日、浅間小学校体育館において18団発団10周年記念式典を行いました。当日は、県連及び地区の役員の方々、又隣接団のスカウトのみなさんの多数のご参加により、盛大に、しか



もなごやかに無事終了出来ました事を厚くお礼申し上げます。  
発団以来10年をむかえ、スカウト活動の一つの節として、記念式典を行う事を考えたのが昨年8月頃でした。  
倉地副団委員長を長とした準備委員会をつくり、4月3日を目標に計画準備が進められました。

プログラム、スカウト行事、パーティー、記念誌、記念品、受付、駐車場……と多くの担当係をつくり、当日は育成会全員が実施に当りました。

こうした一つの行事に、伊熊団委員長を中心に団挙げて協力し合いなすとげると言う事は、今後の18団のスカウト活動が洋々たるものがあると感じさせられました。

又、3月6日発隊した当団カブ隊も、当日みなさんに披露いたしましたでしたが、これで18団も完全団の仲間入りをしたわけです。これからも、地区のみなさんのご協力を得て、栄光あるスカウト活動を続けてゆきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

# 弥栄 引佐第2団カブ隊結成式

引佐第2団  
高須岩夫

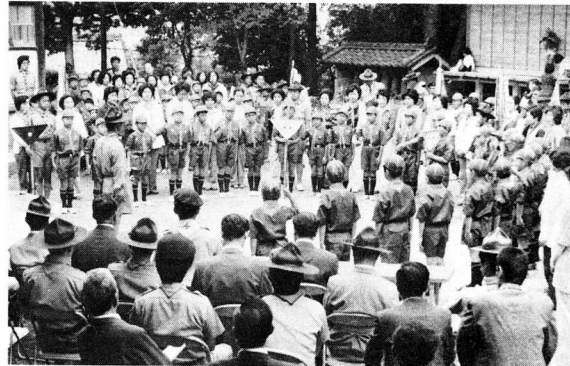
5月22日昨夜来の雨が幸いに降りやみ、実相寺の境内に於て、県連地区委員、各団委員友隊の皆様、地域の各位の参集を得て思いもよらない盛大な結成式が出来ました事を厚く御礼申し上げます。残念な事に最後になって、又雨になり充分な事が出来ず、手落ちもあった事と思ってお詫び申し上げます。

早くからカブ隊の発足を念願して居りまして、本日発隊出来た事は各方面の方々の御便達御指導によるもので、ここにあらためて深く感謝し、今後共力強い御指導を御願いたします。

友隊の方々お友達として、この生れたばかりのカブ隊を引っ張って行って下さい。細江隊のはげましの言葉、第7団のプレゼント有難う御座居ました。

ことに三ヶ原根洗地区のスカウト運動に理解ある方々の参加を得て、私達と致しましてもボーイスカウト運動がいかに必要

である事をあらためて見直す事こそ大切で、実践の上に立つてこの運動を進めて行く様努力します。



# 弥栄 浜松第6団結成20周年を迎えて

浜松第6団・団委員長  
山田昌彦

私達浜松6団20周年式典が去る6月12日、住吉青少年の家に於て行われました。当日は夜半からの雨もあがり、県連より井野包次、尾崎徳郎氏、浜松地区より宮沢、牧野氏、又、友隊多数の御列席をおおぎ、盛大に無事行われたこと、ここに厚く御



礼申し上げます。  
今回の20周年の行事をどのような形にもっていくか、リーダー会議、又、団委員会での会合で20年を有意義にスカウト達の為にというわけで、CS、BS、SS、RS、合同のキャンプ舎営を前日から行い、営火を囲んでの楽しい集い、翌日は、各隊別プログラムに従い、追跡ハイクや、関所ハイクで有意義な一日を過しました。

20年という年月は長いようで、又、短い感じがします。発隊当時のボーイが、今では一兒二兒のパパさんになっているし現在うちのSS隊長の中島君は、2期生で6団はえぬきです。

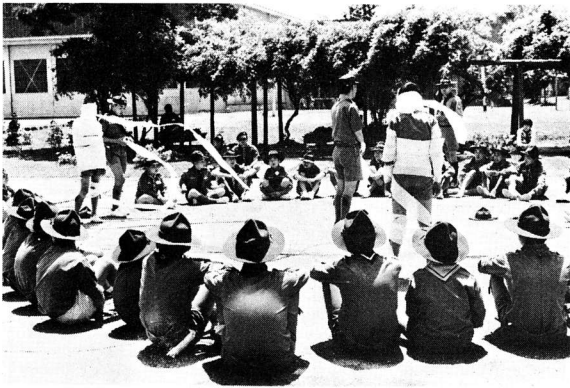
BS活動も長くなればマンネリズムや、覇気がなくなる傾向ですが、幸いにも私の団には新鮮なリーダーが居りますので、全く心配していません。

20年という区切りが出来ました。又、25年、30年に向って頑張ります。何卒皆様方の御支援助と、御指導をお願い申し上げます。本当にありがとうございました。

## デンチーフ研修会の感想

浜松第24団ボーイ隊 植松 和宏

ぼくは今年からデンチーフで、五月の初め、自衛隊の基地で、説明を受けた。その内容では、カブスカウトの面どうを見るので、「これは責任が重大だな」と思い、ぼくは責任感が強くないので、ほんとうに、出来るかなあなどとも思った。その他に組集会のやり方を説明したが、このごろは、もう忘れかけてしまい、スカウト手帳を見なければ、思い出せないようになってしまい、それにその説明が、うまくわからない点もあり、その上に、組集会の経験がないので、ぶっつけ本番と同じようになってしまい何か、不安のような感じがした。この間、カブの隊集会有り、隊集会有ってはあったが、少し組集会の参考になり、ゲームなどもどんなことをやるかも、ほとんどわかり、不安な感じも、少しはやわらいだ。そして、これからカブスカウトの面どうを見るわけだが、はたして、それがうまくいくかは、わからないが、カブスカウトと仲よくなり、兄き分として、しっかりとやって行きたい。



## 初めてのデンチーフ集会

浜松24団ボーイ隊 鈴木 辰夫

この前のデンチーフ集会のやった場所は、自衛隊南基地であった。内容は、みんなで歌を歌ったり勉強をやったり、仲よしの輪とか、手品、その他もろもろ、みんなでデンマザーさんたちのげきを見たりした。ぼくたちは、この勉強会で何を学んだらうか、それがわからないのでは勉強会に行ったのは、もだになってしまう。ぼくは、この勉強会でえたことは、①カブスカウトの前では、わるいことをしてはいけない。②手品やゲームなどではおなじ物をやってはいけない。③カブをあかしてはい



けない、などである。ぼくの気持ちをまとめてみると、デンチーフはカブの子もりをしているように思える。でも、カブスカウトらがカブ隊から巣立って一人前のボーイになって、そのボーイは、きっとデンチーフになる。それは一生に一回のなん所とも言えるだろう。それをのりきれた者こそ真のボーイになれると思う。

## デンマザー研修会を受けて

浜松四団DM 渡瀬 敬子

天皇誕生日の四月二十九日、かなり風がひどい日でしたが、幸いお天気に恵まれ、広々とした浜松南基地に於て、デンマザー研修会が開催されました。

今年のはじめてカブスカウトに入隊させまして、あまりスカウト活動について知識を持たない私です。喜んでこの研修会に参加致しました。いくつかのグループに別れ、見知らぬ人達ともすぐに慣れ、日程に基づいて進められました。宮沢先生のお話しは、ユーモアがあり、飽きる事なく、わかりやすくお話しをして下さいました。子供が如何に親の態度を見ているか、又愛情のない所には知能も育たない云々……。家庭における教育がしつけの面に於ては、重要な役割があるだけに、常日頃の親の態度もきちんとしたものでありたいと思います。私もデンマザーとして、純粋に愛情を注ぎ、子供に接しながら、いろいろな知識を与え、良いしつけが出来る様に勉強していきたいです。その他、歌、ゲーム等短時間でしたので、あまり覚える事が出来なくて残念でした。又カブ隊の仕組みについてお話しを伺いましたが、とにかく母親の責任が重大である事を痛感致しました。テーマを決めて実行するのに、如何に子供を指導すれば喜んで組集會に参加してくれるのか、未経験の私には、何となく不安です。研修会でも組集會の進め方を、もう少し具体的に教えていただけたらよかったです。とにかく子供をよく理解し、共に勉強し、ゲーム歌などで楽しまなくてはいけないと思います。又野外活動で、寝食を共にする事によって、常に見いだせない何物かが見つけれられるのではないかと今から楽しみにして居ります。

デンマザーとしてでなく、母親として、しつけの面などいろいろと教えられる事があり、本当に有意義な一日であったと思います。

## デンマザー研修会に参加して

浜松第24団 DM 小野川喜美恵

風薫る4月29日。次男が日曜日でも登園するので、「きょうは家族が揃って休める祝日だから、ゆっくりしたい」と、心のどこかで思いながら講習会に望んだ。

一日の日程表を渡され、開会式を行う為、参加者が全員並び、開会宣言を待つみの状態となっても始まらない。私はまだ準備が整っていないのかなと思いつつこと、4、5分。そのうちに司会者が、「予定の9時30分になりましたので、只今より研修会を始める云々」この言葉を聞いて、びっくりしてしまった。今までに多くの集まりに出席したけれども、遅れて始まる会はあっても、予定時間通りに合わせて始める会に、私は驚ろきだった。開会式が終わり、会場を移動する時、きょうはきっと、すばらしい何かを得られるなど感じた。







果して思った通り、予定が進むにつれてその通りだった。

まず時間の使い方が大変上手だ。余りの見事さに、毎日家でのんびりしている私には、午前中は少々きつかったが、昼食後過ぎからは多少慣れてきて、常に敏速な行動、判断力を要求されても、苦痛にならぶ行動がとれる様になった。

その他、デンマザーの役割は勿論、奮意気作り、子供との接し方等、又、講師の方々の行動からも、細かい多くの点も学びとり、朝、心の中で思っていた事を恥づかしく思い、満ち足りた気分で家路に就いた。

出迎えてくれた主人が、私の顔を見て一言、「皺が多いけれど、何故か生き生きしているよ」



## デンマザー研修会を受講して

第12団DM 熊谷悦子

4月29日、好天に恵まれた「天皇誕生日」外の賑わいを横目で見乍ら、私達西部、引佐、地区の52年度C S隊入隊の母親総勢80余人は、DM研修を受ける為自衛隊南基地の会場に集まりました。午前9時より盛沢山の日程が組まれ分刻みの行事が始まりました。開会式では、日頃味わえない厳粛な気持ちに成り、12団の宮沢隊長の講演の時には、聞く程に日頃の母親としての態度を恥入った次第です。うた、ゲーム、と進むにつれていつしか緊張もほぐれて意心に返りカブ歌集を開いて、マサビリビリとうたっていました。研修ではカブ隊のしくみとリーダー、プログラムと月例リーダー集会、組集会和隊集会、の進め方が寸劇を混ぜて説明がなされました。この活動を通じて、DMの位置が、カブ活動の中で非常に重要なものであることを痛感致しました。DMの子供達への啓発、又、指導の仕方、考え方が、即、活動の良否を左右するようにも拘らず、唯、与えられたテーマを「何とかこなせばよい」と言うことで何となく当って来た様に思います。この研修会を段階的により高度な考え方、指導の仕方へと、繰り返し実施して頂いてはどうかと提案致します。私達DM自身も日頃の生活の中でも、もっと自覚して「自己の啓発」に努力しないと、よりよいカブ隊が築けないものと考え今後努力する覚悟でございます。

## デンマザー研修会に参加して

浜松第4団DM 武正和子

毎日毎日ぼくらは塾の教室でテストされ、いやになっちゃうな。

ある朝パパの転勤で一緒に

浜松に逃げこんだのさ。

はじめて来てみた浜松は

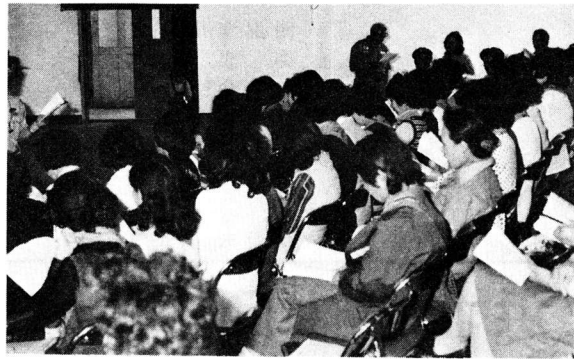
自然は豊かですばらしい。と、親子四人こちらに参りました。東京では長男は二年間、次男は入隊したところでした。こちらで早速浜松4団に入れていただき、

毎回毎回楽しいことばかり

4団はぼくらのすみかさ、と子供二人ははりきっております。しかし私の方は、

時々ひっぱり出されるけど、

そうさその時ゃ行くまでさ と、少々不熱心な母親でした。しかし、此度の研修会で、幹部の方々の熱意あるお話や積極的な活動によって、親子ともどもカブ隊員である意識を持ち、頑張り楽しみたいと思います。よろしくお願いたします。



## D. M研修会をうけて

浜松第4団DM 荒木雅子

C. Sと言う組織活動を始めて経験する私として、D. M研修会に参加したしいでござりますが、これほど子供と親とが一体となって子供の精神的肉体的成長に力をそそぐとは、本当のところ期待しておりませんでした。しつけと親の態度についての宮沢先生のお話について、日頃子供の教育にせいっぱいである私にとって自分自身を、パターンにあてはめながら、ある面での自信とある面での大なる反省とをこうごに考えながら、大変有意義に拝聴致しました。今後の子供の教育方針としては、やはりいままで通り秀才型をきたいするよりすくすくと元気に育ってくれるよう考えております。その他の組集会などの運営の仕方については、今まで経験のない私にとって昔の学生時代の講義を思い出しながら頭を切り変る事が出来ず理解するのに、くろう致しました。一度の講義では、すべて理解したとは言いきれず、こんごせんばいに指導を受け又じっち経験をとうしてがんばって参りたいと思います。以上かんたんながら思いついたまま記述させていただきましたが、ボーイスカウト活動のすばらしさを、つくづくとかんじております。子供もさいきん日曜日のカブスカウトの集会を楽しみにしておりちゅうとはんばな入隊にならぬよう、さいごまでがんばらせるように致したく考えておりますのでよろしくごしどうのほどお願い致します。



# ぼくらの仲間



## —浜松第4団カブ隊—

### ぼくらの隊長

3組 内山 昌美

ぼくが四年生のと中の時に隊長が変わった。その時はやさしかったが、今はきびしくおもしろい隊長だ。おこる時は、きびしいが、ぼくたちが楽しい時はおもしろい。

おもしろい言葉も言う。浜北森林公園へ、フィールドアスレチックとたこあげをしに行った時、隊長より先にフィールドアスレチックが終わっておかしを食べて隊長が来ると

「こらあ、食べたおかしをさか立ちして、はきだせー」とおもしろいことも言う。

ぼくらの隊長はこのような隊長だ。



### ぼくらのたい長

渥 美 学

ぼくらのたい長は、とてもやさしい人です。ちょっと見ると外人のように見えます。鼻が高く目が大きいからです。ぼくたちが、だらしのない時は、大きな声で注意します。その時はきんちょうして、こわいなあとありますが、ぼくたちのことを考えているからだろうからと思います。たい長はときどきじょうだんを言って笑わせます。とてもいいたい長だと思います。

## —浜松第4団ボーイ隊—

### 私の隊長

岡田 昭伸

きびしくした身のこなしで、キャンプの設えいの陣とうにあたっている隊長の姿は、いつもながら“いいな”と思う。

僕達には“こんなこともできるのか”と思うことでも、何の苦もなくまたたく間にやってしまう行動力、指導力はさすがだと思う。隊長の指導は、方法は特にすぐれていると思う。僕達の気持ちをよく理解して、時にはピリッとした隊長。ときには優しく思いやりのある兄貴のような隊長。

僕らの気持ちを理解してくれるのが、何よりもありがたいと思う。中学2年になって、あこがれていた班長になったが、なか

なか思っている半分も行動に移せず我ながらなさないと思うことがしばしばである。しかし、勉強の間をさいてボーイの精神をより高くもって行動していこうと思っている。少しでも隊長に近づけるよう、ぼくの目標をそこにおいている。

### ぼくらの隊長

高倉 邦寛

我団の隊長は、まだまだ若い。若いといっても、学生のような若さではない。それに、子供もいる。しかし、野営の時の隊長は若さがみなぎっている。無論、若さだけではない。若さの中にもきびしさがある。野営の時の隊長は、欠点をどんどん指摘をする。ある面では頭にきてしまうこともある。しかしそんな隊長もただ若い、とはいえない。なぜならば、隊長は、ぼくたちみんなに話をする時、2、3度くりかえしていうことがある。隊長は、自分ではみんなが聞いていそうもないのですが、ぼくとしてはしっかり聞いているつもりだ。だが、そんな隊長はいつまでもそうであってほしいような気がしてならない。なぜなら、思い出としてどこかに焼きついていような気がするからだ。

### ぼくらの隊長

島 一 道

ぼくらの隊長・千葉さんは、ボーイスカウトの隊長としては、若い人である。今年2年目になるぼくには、去年の、あのけがしたことが印象深い。それは、クリスマスパーティーにいく夜に、はしゃぎすぎ、けがをしたことである。そしてすぐに隊長がかけつけてくれた。けがしてから、何回となくみまいにきてくれた。隊長は心がやさしいとか、親切だなと思ったのは1年めまで。2年めになると、デンチーフになった事や、いろんな事でよく家にきたようだ。隊長って大へんだなと思ったりした。だが、隊長のきびしさというのを知ったのもこの年だった。1年目は、新入隊員とあって、なれない敬語なんかもほぐれ、気がおちついたみたいで、よく注意された。大人はだれでも、しかる時はしかり、ほめる時はほめるという、けじめがついている。「ぼくも、ああならなくては……」と思ったときもあった。

来年、ぼくは、中1と小6の後はいをもつ。隊長のようにと



いうことばが実行できたら、うれしいことだし、今まで隊長には、めいわくをかけたが、隊に少しでもなんかの手伝いになるかもしれない。来年は、隊長のよさを、いっそう知りたいと思っている。

## ＝浜松第7団カブ隊＝ ぼくらの隊長

3組 岡本高宏

ぼくらの隊長はとてもやさしい。でもおこるととてもこわい。隊集會をやった時、組長、次長をおこっていた。その時とてもこわそうだった。でもぼくはまだおこられていないので、やさしくかんじる。

いつもおもしろいことをやってくれる。おもにゲーム、うまとび、たまにゲーム大会をやってくれる。今年一回やって4組と同点で一位だった。

キャンプの時などとてもきびしい。キャンプの時はおもしろい遊びを考え、それをやってくれる。楽しいことをたくさんやってくれる隊長です。



## ぼくらの隊長

くま 嵐 和 樹

ぼく達、浜松第7団カブ隊は、北川隊長です。隊長は、スポーツマンで、運動なら何でもやります。隊集會で、みんながだらだらしている時や、さっさと行動しない時などはおこります。その反対に、みんながさっさと行動する時は気分がよいです。

隊長は、時々おもしろい話をしてくれます。その中に九州弁が出てくるので意味がわからない時があります。

副長の時はやさしかったけど、隊長になったらきびしくなりました。でも、いつもみんなの身体の具合を心配してくれます。

ぼくは組長なので、ぼく達の組だけでも、めいわくをかけないようにしていきたいと思っています。

## ぼくらの隊長

1組 しか 吉村 恭 敏

ぼく達浜松第7団カブ隊の隊長は北川隊長です。

北川隊長は、ぼくがうさぎのときからの隊長です。隊長はやさしい時も、こわい時もあります。またそっかしい時があります。手品をやってくれる時、わからなくなって、いつも副長におおえんしてもらいます。歌を唄う時いつもおんちでおもしろい隊長です。

隊長が「パックパックパッカー」といってみんながのろくきたりしゃべっていると何回もやりなおします。ぼくはみんながしっかりやれば隊長にまががからず一回ですむのと思います。

ぼく達がゲームをやっておもしろい時、隊長はいつもわらう。その隊長のわらい声はおおきい。

あと一年半ぐらいしか、カブ隊をやらなけれど隊長といつまでも活動をしていきたいと、ぼくは思っている。

## ぼくらの隊長

くま 長 内 明

ぼく達の隊長は北川隊長です。隊長は自衛隊で働いています。とてもスポーツマンです。足のきん肉などとてもすごくたくましいです。ぼくはうらやましいです。それは、ぼくもスポーツマンを目指しているからです。

ぼく達の隊長は、とてもやさしいです。しかし、おこられる時は、すごくこわいです。しかし、ぼく達に、なぜしかられたのか又どうしたら良いかを考えさせてくれます。そして話をしてくれます。

ぼく達はこうして、だんだんとカブ・スカウトの精神を身につけて行くことができます。

こんど、ぼくは隊長といろいろな話をゆっくりしたいです。でもぼくは、はずかしがったり、てれたりすると思います。

## ＝浜松第7団ボーイ隊＝ ぼくらの隊長

コンドル班 菊池 英 樹

ぼくは、とても隊長のことを心からそんけいしています。それは、いつも礼儀正しく、身なりをきちんとし、日ごろの行ないもいいからです。

隊長は、いつも、みんなの意見を聞き、みんなの希望にあったよりよい結論を出します。ぼくから隊長を見たところではそこが一番隊長のいい処だと思います。隊長は、時には、きびしくなったり、やさしくなったりします。時々、隊長はぼくらのためになることを教えてくれたり、自分でするゲームを教えてくださいます。ぼくは、隊長がいるとなんでもやりがいがあるって楽しくできます。

ぼくにとって隊長は、将来の目的の人で、いつも礼儀正しく、身なりをきちんとし、日ごろの行ないもいい人になりたいのです。



ぼくらの隊長とカブスカウトの隊長とのちがいは、カブスカウトの隊長の方は、みんながなついてくれるような人で、ぼくらの隊長の方は、みんなのやりたいことをやらせてくれて、とても楽しい人です。ぼくにとって隊長は、ぼくの将来の人といえます。

## ぼくらの隊長

和田 義人

ぼくらの隊長は、一番初めは、CS隊の副長をしていた。そして、年がたつにつれて、CS隊長に、又今のBS隊長をやっている。その成果か、少しは甘い面がある。

しかし、隊長は、隊長なりに精いっぱいやっているにちがいない。ぼくは、隊長のそのような所が好きだ。又それが、ぼくらの隊長の特色にちがいないと、ぼく以外の他の人も思っているだろう。

副長やCSの隊長達と比かくすると、副長とは、結索の面で違う。副長の方がみんなうまく感じるに違いない。それは、ぼくと隊長がBS隊に上進してから、隊長は、ほとんど結索をやらなかったからだと思う。CS隊長とでは、親切さ等では、変わらないと思う。

次に実行面で見ると、隊長は、何事もけじめをつけてやっている。それは、いつも隊長が言っているし、すぐ言った事を実行するからだ。それも隊長の特色の一つに違いない。

## ＝浜松第7団シニア隊＝

### 我等の隊長

中村 英行

我々、シニア隊の隊長の高倉清雄隊長は、スカウトにおこったことがまずない、やさしい隊長だ。隊長は、いそがしいせいか、あまり野営には顔を出さない。だから、ひまがあると友達（スカウト）といっしょに遊びに行く。

だが、日帰りの県大会や地区大会等には、カメラを両肩に参加する。隊長の写真の腕は、ピカーである。それは、スカウト浜松の第65号1ページ目の写真や2ページにも記事になっている様に、写真に関しては、隊長の右に出るものは、いないと思う。このようなスバラシイ隊長に指導してもらって、たいへんうれしく思う。

## ＝浜松第12団カブ隊＝

### ぼくらの隊長

宿屋 好孝

ぼくは、埼玉でカブスカウトにはいっていた。そして夏休みに父の会社の関係で急に浜松へくる事になってしまいました。「浜松には、カブスカウトがあるのだろうか」ぼくは、心配になった。そこで、父母が真げんに、ボーイスカウト関係をいろいろ、けんとうしてくれました。その結果浜松12団に移せきする事になった。すぐに12団のキャンプがあり、移せき式をせい大にさせていただき、その時の隊長の言葉で「カブスカウトのさだめを守り、りっぱな人間になるように」と言われ、あらためて感動した。隊長は、早く友達になれる事が大切だといってくれ、また12団のこと、これからの事をいろいろ話して教えて下さいました。だから学校のお友達よりカブ隊のお友達に先に仲

良しになってほっとしました。

ぼくらの隊長は、スカウトの定めに少しでもはんした場合は、それは、とてもきびしい。その時は、30分や1時間でも心を洗われる様なすばらしい良いお話しをして下さる。ある時は、じょう談がユーモアであり、とてもやさしい。時ある事に、すばらしいりっぱな人間になるには、君達の年には、こういう心掛けが必要だ、こうして行かねばならぬと常にお話をし、教えて下さいます。そのひとつ、一言を実行して勉強にスカウト活動を一生けん命にやるつもりでガンバッテ行きます。隊長は、すばらしく、そんなけいすべき人間だと思っています。



## ＝浜松第12団ボーイ隊＝

### ぼくらの隊長

杉山 晴彦

僕達の隊長は、鈴木孝志隊長です。

隊長は落ち着いていて、僕らに対して少しきびしい処もあるが、優しい処もあります。

残念なことに、今病気で、休んでいます。

早くよくなって、一緒にボーイスカウト活動に参加し、前みたいな笑顔と共に元気な姿を早くみたいです。

今、活動には、副長が指揮をとってくれています。

隊長がいなくてさみしいです。

病気が、一日も早くなおって、活動にでてほしいと思います。

## ＝浜松第12団シニア隊＝

### ボーイスカウト活動について

長谷川 淳

私は浜松第12団シニア隊に所属しています。私はカブスカウトからボーイスカウト活動に参加して今に到っています。私がこのスカウト生活から得たもの、それはなんでしょうか。まず第1は、人間同志のつながりを知ることができたということであらうと思います。スカウト活動においては、もちろん身勝手は許されません。スカウト活動を続けていくには自分の人間としての責任を果たすことがなによりも大切です。つまり、人間同志の生活における自由の許容範囲とそれにおける義務というものへの認識が大切になるのです。この認識は、いづれだれもが体験する社会生活における伏線となり、自由という名の横暴や義務という名目における強要に対して、正しい判断と行動を起すことにつながるでしょう。ずい分と大げさなことを言うようですが、これは実際問題として必ずあるべきものだと思うの

です。私は今までのスカウト生活の体験がやがて社会生活における指針にさえもなると思うのです。このような私のこれからの人生における貴重な体験となるスカウト生活をこれからも続けていきたいと思っています。

## ＝浜松第11団カブ隊＝

### ぼくらの隊長

依田和也



ぼくらの隊長は古橋隊長です。隊集会のときは、とてもきびしいけれども、おもしろいところや、たのしいところもあります。

ぼくらのカブ隊は去年できたばかりの隊です。でも隊長たちがたのしいことをけいかくしてくれるので、とてもたのしいです。

このあいだは、隊集会でした。ちょうどその日は雨でした。でも隊長たちがいろいろとけいかくしてくれたので、とても楽しかった。中でも一番楽しかったのは、紙てっぽうでした。わけは、ぼくが決勝戦へ出て勝ったからです。それに、ぼくは、ほかのゲームはぜんぜんだめだったからです。

## 僕達の仲間

小笠原康人

遠鉄に、ある仲間ができた。それは、カブスカウトと言って、3年生から5年生までの、しらない人達の集まり。

初めは、1くみから3くみまでできて、今は5くみまでできた。新しい友だちと、組集会、隊集会をやったり、そしてキャンプをしたり、スケートをやったり、楽しいことばかり。

仲間たちは元気いっぱい、はりきっている。名前をおぼえるのが楽しみで、隊長さんに会えるのがうれしくて

『どんな、ゲームを、してくれるかな』

『どんな、ことを、おしえてくれるかな』

僕達の仲間は、隊長さんを先とうに、みんな、力を合わせて、カブスカウトとして、がんばろう。

## ＝浜松第11団ボーイ隊＝

### ぼくらの隊長

2隊 寺井義幸

ぼくたちの隊長は、加茂という名の隊長だ。いつもおかしい顔をしている。だが、ひげを長くのばすと、顔はすっかりかわ

ってしまう。

加茂隊長は、結索やその他色々わからない事をわかりやすく、ていねいに教えてくれる。こんなに、すばらしい隊長は、めったにいない。

いつの日だったか、キャンプをしている夜、見回りにきてくれた。当り前の事だが、ぼくたちを心配してきてくれたのだ。うれしい。やはり隊長はいい人だ。としみじみ思った。この時から、加茂隊長をそんけいするようになった。

考えてみると、ぼくが仮入隊だった時には、今知ってる事は、ほとんど知らなかった。これもえんの下の力持ちの加茂隊長のおかげだ。これからも、隊長の教えをよくまもりたいと思う。

## ぼくらの隊長

1隊 倉橋孝文

隊集会などの時の隊長は、やさしいけど、いざキャンプや、BS活動になると、とてもきびしくなります。

教え方は、やさしくて、人工呼吸など教える時は、団員を一人ねかして、実さいにやってみせてくれます。

家庭では3人の子供の、やさしい父親です。ごはんを食べる時は、食い地がはっているらしく、とてもきびしいです。

夜間ハイクなどで、団員が疲れて、かえってくると、隊長の愛車で先に帰って、ジュースを買って待っていてくれます。今のところ安月給で、がんばって買っていますが、もうすぐそこをつくころだと思えます。

とても教え方のいい隊長で、1隊から見れば、日本一いい隊長だと思えます。これからもがんばってほしいと思えます。

## ぼくらの隊長

1隊 水野敦司

わが11団1隊の隊長、それは、ぼくらのよき指導者であり、また、よき兄貴分である。時にはきびしくしかりつけ、時にはいっしょに冗談をいい……。

ここまでならば、なんかすてきな隊長の見本のようにきこえるでしょう。しかし実をいうと、まだまだある。

時には、ぐじゃぐじゃの帽子をかぶり、ヨレヨレズボンをはいてきて……。時には、ねむけまなこ、今おきたばかり、という顔をして隊集会へやってくる。

書ききれないくらい、いろんな様子を見てきた。しかし、いつも素適でなければ、いつもかっこ悪いわけでもない。

ようするに、ぼくらの隊長、ごく普通の人間である。そしてぼくらも、ごく普通の人間である。

そんな人間どうし、集っているいろんな事を学ぶ、ボーイスカウト。そしてそこで一味違った人間になっていく。

一味違った人間によりぬかれた人間になるために、ぼくらは、ボーイスカウトに加わった。そこでぼくたちを指導してくれるわが11団1隊の隊長。

たとえ普通の人間だって、ぼくらをリードしてくれる、隊長にかわりはない。あしたを夢みる、ぼくらにとって、たのもし指導者である。

## ＝浜松第19団カブ隊＝

### 小沢隊長

1隊 3組 原田敬之

ぼくは今まで、小沢隊長に習ってきて、小沢隊長は物知りであらうな人だと思いました。

いつも隊集会や舎営の時、みんなが知っていないことを話したりしてくれるので物知りだと思いました。

それに少しよきというのは、なぜか隊集会や舎営の時にわらいながらゲームのやり方の例を教えてくれるからです。

ぼくはこんな小沢隊長が大好きです。大好きな小沢隊長、これからたくさん集会の時に、いろいろ話してください。



## ぼくらの隊長さん

2隊 3組 土手 一 浩

ぼくらの隊長さんは、ます田隊長です。隊長はメガネをかけていて、いつもやさしい顔をしています。

隊集会のときには、いろいろなことを教えてくれます。隊長はみんなでゲームをしている時、ぼくたちがルールをまちがえた時や、おもしろい決戦をしていると

「ワハハハハ」

と隊長は、まゆ毛をまるめてわらいます。だけど、みんなが列をみだしたり勝手な行動などをすると、おこります。

おこるときにはおこる、わらうときにはわらうという、しまりのある隊長です。これからも、いろいろな行事をたくさんやってください。

## ぼくらの仲間

2隊 6組 池野 聡 明

ぼくはカブスカウトに入団して2年目になります。そして多くの友だちをもちました。

また、今までに学校や家などではできない体験をしてきました。その体験の中で一番よかったのは舎営です。

舎営では、仲まどうしでの食事・ついせきハイク・写真・化石さがしなどをしました。みんなでたべる食事はおいしい。ついせきハイクでは、みんな力を合わせて、めじるしをさがしたり、ゲームをしたりしてゴールへついた。

こうした仲まとの生活はとても楽しかった。

最後に、ぼくらの隊長をしょうかいします。隊長は、顔が四角っぼくスマートです。とてもやさしくて、おもしろい隊長です。

## ＝浜松第19団ボーイ隊＝ われわれの隊長

中西 寛 文

ぼくたちの隊長は、とてもすばらしい隊長です。長い隊長のけいけんをもって、キャンプ、活動、ハイキングなど、いつもすばらしい計画を立ててくれる。

いつでもぼくたちの先頭に立ち、スカウトはこのようにしなくてはならないという見本を見せてくれる。ぼくたちはいつもそんな隊長はすばらしいと思う。

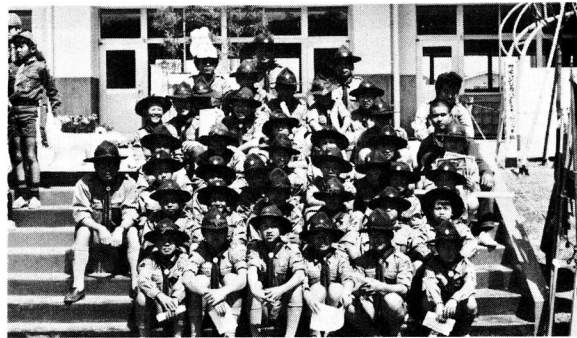
でも、時には失敗することもあります。あれは去年のことでした。奥山から寸座へぬけるハイキングのとき、尉ヶ峰のところで弁当を食べる予定が、道をまちがえて、とうとう大回りをしてしまった。

やって国鉄二俣線の駅が見えたところで列車は発車してしまい、またぼくたちは、寸座の駅に向かって歩き出した。

しかし、こんなことも今考えると、とても楽しい思い出となっている。

キャンプのときは、食料品の買い出しから、テントの設営、スケジュール作りなどについて、いっしょうけんめいやってくれる。

ぼくたちは、こうした隊長のおかげで楽しい活動ができるのだ。そんな隊長がぼくは大好きであり、19団のほりこりである。



## ＝浜松第19団シニア隊＝ 我々のSS隊長

グリーンシニア 野 中 智

我が19団のSS隊長は、昨年度BSの2隊長としていろいろ指導していただいたが、今年度よりSS隊長となり、とても張り切っている。若い頃は「りょう」が得意で山に入りイノシシを撃ったり、海に出て網を引いたりしたそうで、なかなか趣味の広い人である。こうしたことからハイクやキャンプの時などにいろいろな植物や、野草の名を教えてくれたり、野外料理に野草を食べさせてくれたりする。また仕事の関係から測量や、建築にもとても詳しい。先日、ぼく達が団野営地でキャンプをした時、水運びが不便だからといって水道のパイプを長くつないで水が出るように工事をしてくれた。このように趣味や仕事を生かした活動家である隊長の下でぼく達は、いろいろな技術を学び、また精神的なものも学んで、よいスカウトになるよう心がけたいと思っている。

## ＝浜松第24団カブ隊＝ ぼくらのたい長

3組 田中 孝 太 郎

ぼくら、カブスカウト24団のたい長は、やぶ下隊長です。組



集会の時たい長と、戸塚さんがきます。戸塚さんのアコーデオンにあわせて、歌ったりします。いろいろなゲームもします。ゲームは、とてもたのしく、ゆかいです。たい長は、そうやって1組から6組まで、まわっているのです。

たい集会の時、組でのいろいろなえんぎを見ているたい長には、笑顔が見られます。組集会と同じように、おどったり歌ったり、楽しいゲームをします。

舎えいの時、みんなが楽しくらせるように考えたりします。ぼくは、こんなよい隊長は、ほかの団にはいないと思います。



## ぼくらの隊長

4組 加茂能直

ぼくらの隊長は、やる時にはやる。なかなかきびしい隊長です。たとえば、この前の県大会の時に、開会式に「しっかりならんで話をよく聞け」と言ったり、閉会式には「つかれていても、しっかりやれ」と言って、きびしく言ったりする。

4月のB-P祭の時に、ねる時や集合の時に「けじめをつけろ」と言ったりした。でも、きびしい時もあるが、おもしろい処もあります。隊集会の時などハンカチ落としをやったり、ドッチボールをやったり、ロープの取り扱いを教えてください、皆なの中でいっしょに遊んで遊びを教えてください、みんなも楽しそうです。

学校でも遊べるので、とても楽しいです。こういうことを教えてくれる隊長を、ぼくは大好きです。これからもぼくたち浜松24団の、よい隊長でいつまでも元気ががんばって下さい。

## —浜松第24団ボーイ隊—

### ぼくたちの隊長

市川一人

ぼく達の隊長は、とてもやさしくてこわい。と言うとむじゅんしているようだが、だれでもぼく達と同じ立場から見れば、そう感じると思います。

白毛頭とまんまるな顔、だるまの様な身体つき、一瞬見た時は、とてもやさしいそうに見える。でも目の奥にはきびしさが光って、ぼく達隊員を見つめています。

今班集会で、かまどの作り方の訓練だ。一人の欠席もなくみんな力を合わせて一生懸命作業をしていると隊長がニコニコしながら「皆さんコンニチワ」「がんばっているね」と言って励ましてくれる。みんなも「コンニチワ」とあいさつする。そして、だれにもやさしく親切に教えてくれる。つらい作業もこ

うして隊長のすばらしいアドバイスで一日楽しく過ぎていきます。めったにおこった顔を見せない隊長であっても、その姿を見ているとぼくは、常に心にひきしまりを感じます。

家の中で言うなら力強く支えてくれる、たよりがえのあるオヤジと言う感じがびったりする。にこにこしてやさしいおじいちゃんのようなでもあり、又一生懸命アドバイスしてくれる兄貴のようなでもあります。

こんなすばらしい隊長がぼく達の隊長です。ぼくは胸を張って自慢できます。ぼく達はほんとうに幸せです。いつまでもいつまでもぼく達を指導して下さい。

## ぼくらの隊長

ホワイトウルフ班 小栗正男

ぼくたち24団の隊長は、原口隊長です。体は、がっちりしていて、とってもユーモアがあります。でも、とてもきびしい時もあります。ぼくたちは、まだ入ったばかりのため、おこられたことはありません。入った時とてもこわそうに見えましたけど、やっていくと、そうでもありません。ぼくは安心しました。

隊長は、キャンプファイヤーの時にいろいろな歌を教えてください。頭は白いけれど年は若いです。キャンプの時ぼくたちを、やさしくいたわってくれます。ぼくは、こんないい隊長にめぐりあえて本当によかったなあと思いました。これからも、やさしく、きびしく、いろいろと教えてください。ぼくも一生けんめいに、がんばります。



## 僕らの隊長

フェニックス班 加藤栄三

僕たちの隊長の名は、原口芳彦さんです。初めて見た時は、こわそうだなアと思いましたが、今ではとても、やさしいおじいさんのように思えます。しかし去年の、西部ブロックキャンポリーの時は、とても頭にきました。それは、朝の点検の時、僕達の班だけ認められなくて、こっぴどい批評をうけたからです。だけど、その時のことが今の僕たちの班にとって、とてもいいことになりました。例えば、今年一番初めのキャンプの時、なまけているヤツがいると、僕が「そんなことしているとキャンポリーみたくなるぞ」としかりつけると、そいつは何にくそと言う気持ちで、しっかりやってくれるからです。そしてその時のキャンプは、隊長のおかげで最優秀班に輝きました。これからもキャンポリーの時の隊長のことを思い出して班をまとめて頑張っていきます。



めぐり会う場であると同時に、人々を強く結びつける場でもあるわけです。

私は残念ながら、あの当時の同班の人達と交わりを持つことができずにいますが、班訓はもちろん、人生においてこのめぐり合いというものは大切にすべきであると思います。今回もいろいろなスカウトらと共に歌い踊れてとてもうれしかった。そしてこのめぐり合い改めて邂逅と呼ぶ時、私は、ほのぼのとした人生への満足と新たな希望を、またしても抱くことができたように思えてならないのです。

## 舎営に行つて

浜松第24団 カブ隊 6組 大城 定則

ぼくたち浜松第24団カブスカウトは、4月9日・10日と住吉の青少年の家に、舎営に行きました。青少年の家は、去年行ったので、どう言う所か知っていました。

去年は八坂神社に集まって、隊長さんやボーイスカウトの人達を、先頭にして並んで行きましたが、今年は各組で行くようになったのでデンマザーの金原さんの家に集まり、歩いて行く予定だったが、あいにくの雨だったので、おじさんの車に乗せて行ってもらいました。青少年の家の人達のしょうかいと隊長さんのお話を聞きました。

小雨の中を夕ごはんのあとはキャンプファイヤーです。火の回りをみんなでかこみ、上進式がはじまりました。みんなは新入隊の人達と上進する人達を、はく手でむかえました。

次の日は、あんがいよいお元気でした。その日はオリエンテーリングをしました。帰る時、青少年の家の人達にお礼をいい、隊長さんが新しい組を発表してくれました。ぼくは、カブスカウト最後の残された一年間を皆んなのために協力し、一生懸命がんばりたいと思います。

## 県大会

浜松第19団 1隊 1組 佐藤 圭展

6月5日は、県大会だった。心配していた雨もふらず、すごくよい天気になった。

バスで舞阪町までいった。もう、おうぜい来ていた。県のスカウトは、こんなにいるかと思った。

開会式が終わったら、ため息をついた。とても長かったからだ。海の岸べで、おべんとうを食べた。20分ぐらいたら、橋の下の方で貝取りをやった。とてもたくさん拾った。ぼくは40分ぐらいやっていた。ズボンや、シャツが、ぬれてしまった。

ぼくは、帰る時に、小さいかを見つけた。橋の、ま下には、やどかにながたくさんいた。とても楽しい一日だった。

## 班長訓練野営にて

浜松第7団 ボーイ隊 和田 義人

3月20日は、待ちに待った班長訓練野営だった。ぼくは、初め訓練よりテントに寝たい気持ちの方が強かった。ぼくは、団友の板倉君とともに他の団の友達と協力して設営を行った。

20日の夜のぼくは、板倉君達の次長のテントに寝た。3月の夜は、死にそうな寒さだった。そのためか翌日の朝は、つかれとすいみん不足で気分が悪かった。このような事が21日も同じようにくり返された。三日目の朝、ハイキングの出発のため

に、灰だらけの米をおにぎりにし、ふりかけをかけ、たくわんを入れ出発した。途中色々な地点を通りぬけ、半分ぐらいの地点で食事をした。そのおにぎりは、見かけは悪いがとてもおいしいという評判なので、ぼくは、いばっていった。その日の夕食は、カップライスというへんでこりんな食事だった。

四日目の朝の23日の日、ぼくは、体内に赤いハンテンのようなぶつぶつと目を赤くする事のできる病にかかった。それは、ごく普通の風しんだった。みんなから見れば何げない事だが、ぼくにとっては、とてもいやだった。帰り道の途中、隊長が、「家に先に帰って、お父さんに診察してもらえば」といわれた。ぼくは「今、帰れば来年又同じような苦しい思いをしなければならぬので続けます。」と答えた。ぼくは、苦しみにたえながらも終了証をいただいた。ぼくは、このキャンプで、協力の事と一人一人の力の大きさを知った。又、この事は、一生忘れないだろう。

## ～ う ご き ～

- 4月2日 財政委員会開催(法林寺)
- 3日 浜松第18団10周年記念式典(浅田町・浅間神社)
- 6日 訓練チーム集会(法林寺)
- 9日 班長訓練野営反省会(法林寺)
- 12日 スカウト保険受付(法林寺)
- 16日 地区協議会第23期年次総会(法林寺)
- 17日 引佐第2団CS隊審査 中央・南部小地区DM研修会
- 20日 県大会打合せ会(法林寺)
- 29日 中央小地区DC研修会、西部小地区DM研修会
- 5月1日 西部小地区DC研修会
- 2～5日 WB研修所、CS課程第14期(沼津少年自然の家)
- 3～5日 浜松祭り駐車場整理奉仕 200余名奉仕参加
- 8日 地区テント整理、ヨット補修点検
- 14～15日 指導者養成講習会BS課程(浜松青少年の家)
- 15日 南部小地区DC研修会
- 16日 浜松祭り駐車場奉仕反省会
- 21～22日 ヨット操法リーダー講習会
- 27日 浜松ライオンズクラブ寄附金伝達式
- 28日 県連総会
- 31日 ヨット委員会
- 6月5日 県大会西部会場開催(弁天島渚園)
- 8日 健康安全委員会開催(法林寺)
- 10日 地区内コミ会議(法林寺)
- 10～13日 WB研修所BS課程第13期(朝霧)
- 12日 浜松第6団20周年記念式典
- 18日 県連コミ・事務長合同会議(静岡・中央公民館)
- 18～19日 指導者養成講習会CS課程(袋井)
- 19日 地区内BSリーダー研修会
- 26日 野営地視察

## ～ あ と が き ～

夏を迎え、本格的なスカウト野営活動に入ります。心身共に大いに鍛えよう。

本号は西部小地区担当で編集しました。やはり隊長さんは敬愛されるものである。

次号は浜北、引佐小地区の担当で、盛沢山の記事をお送りします。ご期待下さい。

(S・Y 記)

### 発行所 第68号

日本ボーイスカウト浜松地区事務所  
 浜松市利町70-4 児童会館内  
 編集発行責任者 山中 将司  
 印刷所 (株)朝日堂印刷所  
 昭和52年7月15日発行